

案 件：第2回お互いさまのまちづくり協議会 議事録

日 時	令和元年10月18日（金）午後1時30分～午後3時30分
場 所	豊橋市役所 東館8階 東80会議室
参 加 者	委員 10名 アドバイザー 1名 事務局 長寿介護課

1 議事

(1) 今年度の活動団体立ち上げ状況について（中間報告）

- ・情報を提供した各委員から報告

— 質疑 —

- ・委員 : 植田校区の居場所立ち上げに向け、4月から地域ケア会議にも出席しているが、その担い手不足で苦慮しており、今年中に立ち上げは難しいと考えている。自治会からの協力も得ようとするが、男性ばかりで地域包括支援センターのことも知らず、難しい。認知症サポーター養成講座も受講しながら、男性にも居場所のことに関心を持ってもらおうとするが、自分のこととして認識していないようだった。
- ・委員 : 自分が認知症になるかもしれない、認知症予防が必要なのは、という視点からなら男性でも興味を持つのではないか。
- ・委員 : 地域包括支援センターの認知度向上について、南部地域包括支援センターでは、自治会の回覧で年2回チラシを回して周知を図っているが、ご家庭の奥さんが見て旦那さんが見ることなく回してしまっているため、どうやって認知度向上を図ったらよいか、いい考えがあったら教えてほしい。
- ・アドバイザー : 活動団体立ち上げを推進するには、今度の民生委員改選後、民生委員が集まるときにお互いさまのまちづくりについて周知し、民生委員から自治会へ居場所立ち上げへ向けてアピールをしてもらったらどうか。

(2) 豊橋市南部地域包括支援センターの取り組みについて

- ・朝倉委員より説明

— 質疑 —

- ・アドバイザー : 豊川市では、防災無線を使って行方不明者の情報を流している。災害時要援護者の登録について、豊川市では援護者の情報が古く、亡くなっている場合があるため、豊橋市では毎年新しい情報に更新していったほうがよい。

(3) 支え合い活動者交流会の開催結果について

- ・大野委員より説明

— 質疑 —

- ・アドバイザー : アンケートを実施する際、アンケート項目を「自分ならこう考える」というような答え方をさせる設問にすると、よりよいアンケート結果が得られると思う。
また、多世代交流について進めていくには、こども未来政策課にも地域包

括ケアシステムの検討に参加してもらおうのがよいと思う。また、こどもにアンケートを家で書かせると、親が必ずその書類を見るから、多世代交流が進むと思う。

- 委員 : 小学校に協力してもらおうと、多世代交流が広がっていくと思う。例えば、旭校区で小学生がほの国体操を覚えて、その体操が運動会で披露され、子育て世代へ広がった。
- アドバイザー : 豊川市の学校には、学校運営協議会があり、民生委員・子供会・自治会の方が参加している。豊橋市でも同様の取り組みにおいて、「子育て世代を対象にした居場所づくり」について検討してもらってはどうか。そうすることで、居場所づくりが市全体に広がっていくのではないか。

(4) 子育て世代を対象にした居場所づくりについて

- 事務局より説明

(5) お互いさまのまちづくりネットワークの登録状況について

- 事務局より説明

— 質疑 —

- アドバイザー : 団体数を増やすために、市民協働推進課のどすごいネットから情報をいただいたらどうか。
- 委員 : 登録のメリットがないのではないか。
- アドバイザー : 校区ごとの支え合い活動の状況がわかるものはないのか。それがあると、支え合い活動が盛んなところやそうでないところがあるので、この会議内だけでも出してほしい。
- 事務局 : 校区ごとの支え合い活動の状況は年次報告書で公表しているとおりです。
- アドバイザー : 市民協働推進課が所有するどすごいネットの情報も欲しい。
- 事務局 : どの時点で、お互いさまのまちづくりネットワークとどすごいネットの情報を突合するのか、数も多いのでそもそも突合できるのか、検討する。
- 委員 : お互いさまのまちづくりネットワークは、支え合い活動の基準である4つの条件を満たす団体としており、地域課題を意識している等の条件があてはまらない団体まで含めると、数が膨大なものとなり、整理できなくなるためよくない。また、居場所は、老人クラブや社会教育の公民館等へ行けない人が集える場所という良さがあるので、市民協働推進課や生涯学習課がやっているものとは切り離れたほうがよいと思う。
- アドバイザー : 生涯学習課がやっている事業へ参加している人は、支え合い活動の運営者として取り込めると思うので、そこをうまく利用できればと思っている。
- 委員 : 市民協働推進課や生涯学習課がやっていることと一緒にすると、この支え合い活動の良さが消えてしまうと思う。それよりも、既に支え合い活動をされている方たちの機運を高めていったほうがこの協議会の意味があるのではないかと考える。
- アドバイザー : 地元の人だけを対象とするだけでなく、支え合い活動に長けてるNPOがいるかもしれないから、市民協働推進課の情報もいただいたほうがよいと思う。

2 その他

- 令和元年度 第3回協議会

令和2年2月14日(金) 10時00分～11時30分